

- 5月の米消費者信頼感指数は市場予想を下回り、5ヵ月ぶりに低下。現況指数は4ヵ月連続で上昇したものの、期待指数は2ヵ月連続で低下。6ヵ月先のビジネス環境改善や雇用増加の回答も低下した。
- 5月の米消費者信頼感指数からは、個人直接給付などの措置や経済活動再開が、個人消費拡大に寄与した動きが一服しつつあると思われる。同月の米小売売上高はやや低調な内容になる可能性も。

## 現況指数は4ヵ月連続上昇、期待指数は2ヵ月連続低下

25日に発表された5月の米消費者信頼感指数は117.2と、市場予想の118.8（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を下回り、5ヵ月ぶりに低下しました。前月は117.5（速報値の121.7から下方改定）と、2020年3月以来、約1年ぶりの高水準でした。

内訳をみると、現況指数は4ヵ月連続で上昇し、2020年4月以降で最高となったものの、期待指数は2ヵ月連続で低下しました。

このほか、雇用については、足もと十分にあるとの回答は2ヵ月合計の上昇幅の合計がおよそ10年ぶりの大きさとなり、1年4ヵ月ぶりの水準を回復しました。

一方、6ヵ月先の見方については、ビジネス環境が改善するとの回答や雇用が増加するとの回答は2ヵ月連続で低下しました。また、今後6ヵ月の耐久消費財購入予定は、大型家電製品は3ヵ月連続で低下し、2011年9月以来の低水準を記録したほか、自動車はおよそ1年ぶりの低水準となりました。

## 5月の米小売売上高はやや低調になる可能性も

先に発表された4月の米小売売上高は年率換算で6,199億米ドルと、過去最高を記録したものの、前月比ではほぼ横ばいとどまり、市場予想の同+1.0%を下回りました。なお、前月分は同+10.7%と、速報値の同+9.8%から上方改定されたことから、前月分の上方改定まで含めた2ヵ月合計でみた場合、おおむね市場予想に沿ったものといえます。

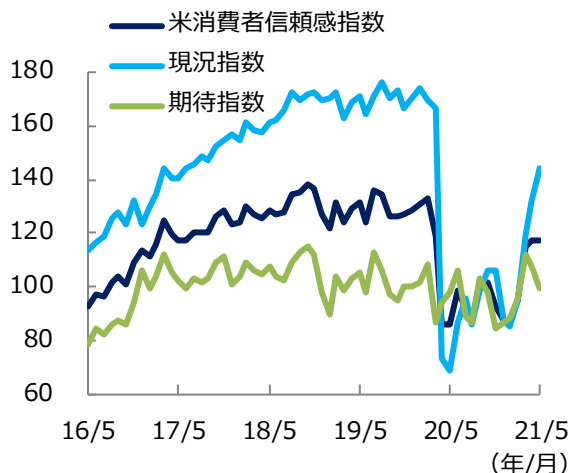
ただし、5月の米消費者信頼感指数からは、個人に対する1,400米ドルの直接給付などの措置や飲食・サービス業などにおける経済活動再開が、個人消費拡大に寄与した動きが一服しつつあると思われます。

また、今後の見方について慎重な調査結果となったこともあり、同月の米小売売上高はやや低調な内容になる可能性も考えられます。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

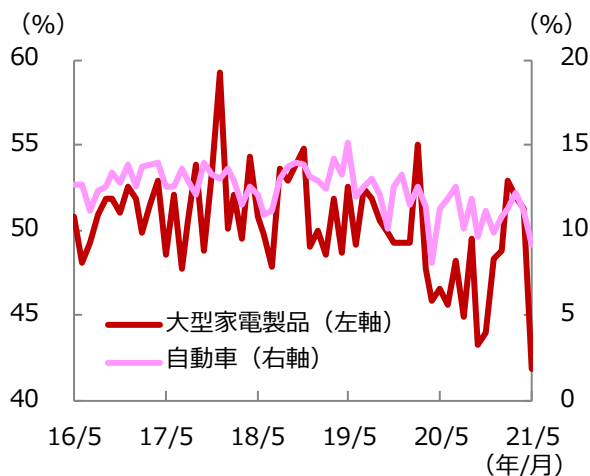
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## 米消費者信頼感指数の推移



※期間：2016年5月～2021年5月（月次）  
季節調整済み、1985年=100とする

## 今後6ヵ月の購入予定



※期間：2016年5月～2021年5月（月次）  
購入予定は米消費者信頼感指数における回答比率

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。